

令和 5 年度下水道広報プラットホーム (GKP) 定時総会 議事録

日時：令和 5 年 7 月 4 日（火） 15 時～18 時 40 分

場所：日本下水道協会 5 階大会議室

◇会員出席状況：

現会員数：個人会員 501 名、団体会員 138 団体

出席者 49 名（個人会員 30、団体会員 19）、委任状提出者 183 名（個人会員 124、団体会員 59）、合計 232 名（個人会員 154、団体会員 78）

この数は会員数 639 の 1/10 以上であり、規約第 14 条の規定による総会の定足数を満たすものである。

1. 長岡会長 開会あいさつ

コロナ禍が落ち着き、4 年ぶりに対面での総会を開くことができました。こうして皆様と直接お会いできることを非常にうれしく思います。

GKP は中央集権的に広報を進める会ではありません。現在 19 あるプロジェクトの担当者をはじめ、下水道を愛する人たちが自由に出入りし、交流・連携して下水道の広報を盛り上げていくことを主旨としています。

本日は総会後の懇親会も久しぶりに復活いたしましたので、ぞんぶんに語り合っていただければと思います。

また、リアルでご参加いただけない方にもオンラインでご視聴いただけるよう体制を整えました。

最後までお付き合いいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

2. 議長選任

議長に栗原秀人氏を選任。

3. 議事録署名人の選任

議長より、押領司重昭氏、白浜公平氏を推薦。承認。

4. 第 1 号議案「令和 4 年度事業報告について」

第 2 号議案「令和 4 年度決算報告について」

第 3 号議案「令和 5 年度事業計画（案）について」

第 4 号議案「令和 5 年度予算（案）について」

① 令和 4 年度事業報告と令和 5 年度事業計画案

堂蘭洋昭・企画運営委員長より令和 4 年度事業報告と令和 5 年度事業計画案を説明。

【令和4年度の事業報告】

<対象・層の拡大>

- ・下水道を未来につなげる会（未来会）
- ・インフラテクコン
- ・G K P チーム市民科学
- ・B I S T R O 下水道
- ・キッチン・バス連携
- ・G K P 広報大賞

<目玉プロジェクト>

- ・マンホールカード
- ・東京湾大感謝祭
- ・マンホールサミット
- ・エコプロ
- ・スイスイ下水道研究所（下水道展）
- ・早慶レガッタ

<会員向けの活動>

- ・コミュニケーション研究会
- ・わいがやトーク
- ・Fika（フィカ）

<活動の地方展開>

- ・G K P 北海道
- ・G K P 関西
- ・G K P チーム九州

【全体を代表して3つのプロジェクトリーダーからの報告】

<下水道を未来につなげる会（未来会）>

木更津高専のイベントで印象的な出来事があった。見学させていただく木更津下水処理場にご挨拶に伺った際、若い女性職員を紹介された。実はこの方は木更津市出身で、数年前に未来会のイベントに参加されたとのこと。その経験がきっかけで木更津市への就職を決めたと伺い、感激した。

<マンホールサミット>

マンホールサミット in 所沢は1万4,000人の方にご来場いただいた。第1回が300人であったことを考えると、大きな成長である。また今回の特徴として、過去最大のマンホール蓋展示、回遊性を高めた開催（重ね押しスタンプ）、トークイベントに初めて大学生が登壇、の3点が挙げられる。本年度は10月21日・22日に愛知県岡崎市で開催する予定。次年度は公募に手を挙げる自治体がなく、二次募集を含めて対応を検討する。

<コミュニケーション研究会>

個人会員・団体会員の交流を図るとともに、産官学の知恵を出し合いながら、よ

り伝わりやすい広報技術の習得などをめざして活動している。ここ3年間はコロナ禍の影響からリアルで集まるのが難しく、オンライン会議やYouTube配信などを活用した。コミュ研の代表者として同時に担当しているエコプロは、昨年度、4,300人の来場者を得た。本年度は12月6日～8日の開催決定を受け、実行委員会形式による企画検討を進めている。団体会員の皆様には引き続き、資金面での協力をお願いしたい。

【令和5年度の活動計画】

- ・下水道を未来につなげる会（学校イベント等を継続）
- ・インフラテクコン（下水道課題に挑戦するチームの増加をめざす）
- ・GKPチーム市民科学（発表会、情報交換会など実施）
- ・BISTRO下水道（じゅんかん育ちのプランディング等）
- ・キッチン・バス連携（川柳づくりを通じて流す先の自分ゴト化を推進）
- ・GKP広報大賞（11月頃の募集開始めどに広報大賞開催）

<目玉プロジェクト>

- ・マンホールカード（19～21弾発行、制作ルール見直し、新企画検討など）
- ・東京湾大感謝祭（来場者2,000人を目標に出展）
- ・マンホールサミット（来場者8,000人を目標に岡崎市で開催）
- ・エコプロ（来場者4,000人を目標に出展）
- ・スイスイ下水道研究所（8月の下水道展パブリックゾーンの運営に協力）
- ・早慶レガッタ（大会に協賛し、下水道の貢献を訴求）

<会員向けの活動>

- ・コミュニケーション研究会（フォーラム開催、団体会員企業の訪問など）
- ・わいがやトーク（年3回程度の開催）
- ・Fika（フィカ）（随時開催）

<活動の地方展開>

- ・GKP北海道（下水道展への企画・運営面での協力）
- ・GKP関西（GKP関西夏祭りの開催など）
- ・GKPチーム九州（福岡市や北九州市と連携した広報活動など）

② 令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案

令和4年度収支決算、令和5年度収支予算案について、事務局の鎌田篤治氏より説明。

秋山礼子監事より、令和4年度の収支決算報告に相違ない旨、監査報告がなされた。

議長は、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

5. 第5号議案 「役員の選任について」

事務局の鎌田氏より、役員の選任について説明。役員の任期は2年間。

(再任)

副会長 長谷川健司 管清工業株式会社代表取締役
理事 塩路勝久 公益財団法人日本下水道新技術機構理事長
理事 小林由夏 シニア広報コンサルタント

(退任)

副会長 渡辺志津男 地方共同法人日本下水道事業団理事
アドバイザ 諸富里子 環境コンセプトデザイナー

(新任)

副会長 神山 守 東京都下水道サービス株式会社代表取締役社長

議長は、第5号議案を議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

(副会長を退任された渡辺志津男氏のあいさつ)

約4年間、副会長を務めさせていただきました。就任当時は東京都下水道サービスの社長という立場から貢献できることがそれなりにあったのですが、その後仕事が変わり、コロナ禍の影響もあってGKPの活動に関われる機会が少なくなりました。そこで、この総会を機に退任を申し出た次第です。後任が東京都下水道サービスの神山社長ということで、心置きなく退くことができそうです。今後は個人会員として皆さまと一緒に活動を続けていきたいと思っておりますので、是非、宜しくお願ひ致します。

(新副会長の神山 守氏のあいさつ)

副会長にご推挙いただきました神山です。渡辺・前副会長の意志を引き継ぎ、GKPの活動に積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

6. 会員の意見・提案

- マンホールカードを1～2ロット発行して辞めてしまう自治体が目に付く。発行を辞めた自治体の名前もGKPのサイト（発行一覧）に掲載されているので、ファンとしては集めたくなり、結果、高額な値がついて取引されている。少なくとも1年以上発行していない自治体や非協力的な自治体のカードはGKPの一覧リストから削除していただきたい。また、新規発行する自治体に対して10ロット以上の発行あるいは5年以上の発行を求めるなど、カードファンを裏切らないルールづくりとその徹底をお願いしたい。

(堂歯委員長回答) 実態を踏まえて対応を検討していく。

○ 3年前につくったB I S T R O 下水道の曲「ビストロ ジーズ ソング」をイベント等で活用していただきたい。

YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=AxKHKpnnncI>

○ 岡崎市民の上下水道に対する認知度アンケートに寄せられた声を共有させていただきたい。具体的には「上水道は必要だが、下水道のことは分からぬ」(30代)、「下水道の利用を強制され、後悔している」(50代)、「下水道使用料とは何ですか。よくわからないのにけっこうな金額を支払っている」(60代)。こんな辛口の意見が届いている。この現状を受け止め、岡崎市では本年度のマンホールサミットを下水道の正しい理解を広める良い機会としていきたい。皆様のお力添えをお願いしたい。

審議終了、閉会。

以上、

上記の議決を明確にするため、議事録署名人は次の通り署名押印する。

令和5年7月4日
下水道広報プラットホーム（G K P）
第12回（令和5年度）定時総会

議長

栗原秀人



議事録署名人

押領司重昭



議事録署名人

白浜公平



